

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	論理回路学		
英文授業科目名	Logical Circuits		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	山口 和彦		
居室	総合研究棟919		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yama@ice.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
論理回路学は、コンピュータのマイクロプロセッサなどを構成するデジタル回路を、数学的にモデル化したものである。コンピュータのハードウェアの理解の第一歩となる科目であり、論理回路の設計方法を学ぶことを目的とする。論理回路、順序回路の設計方法とそれに関する諸概念の理解をしっかりと学んで欲しい。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
離散数学

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
上記の「履修しておくべき」程ではないが、この科目を履修するために、前もって履修しておくことが望ましい科目を記述してください。

<b>【教科書等】</b>
教科書：情報通信工学科三橋渉先生作成のテキスト「論理回路学・同演習講義ノート」を利用する。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
以下の内容を講義する。
1．数の表現と符号の体系
2．命題と論理

3. 論理関数と表現形式
4. 論理関数の簡単化
5. 組み合わせ論理回路
6. 順序回路
7. 状態変数とフリップフロップ
8. フリップフロップによる順序回路の実現

連続した時間割で開講される論理回路学演習と一体で指導が進められる。演習課題については、宿題のレポート課題を出すことが多い。

以上。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

中間試験・期末試験および演習・宿題の結果を、次のように総合評価する。

成績評価	演習・宿題	10%
	中間試験	40%
	期末試験	50%

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。

- ・論理回路、順序回路に関する用語がきちんと理解できており、正しく説明や証明ができること。
- ・論理回路・順序回路の設計が行えること。様々な表現形式や、簡略化の手法を理解し説明、実行ができること。

すべての演習・宿題レポートが受理されていること。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日 - 金曜日 12:30 - 16:30の在室時が望ましい。  
会えない場合は、E-mailなどで事前にアポイントを取ること。  
訪問可能な日時をできるだけ多く指定すること。

【学生へのメッセージ】

基礎的な科目なのできちんと身に付けて欲しい。

離散数学（学科によっては必修科目）や集合論等の内容と関係深く、その関連性を認識するとよい。

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

また、論理回路学の講義の中ではアルゴリズムを勉強する上で、興味深いものが数多く取り上げられていることにも興味を持って欲しい。

【その他】